

平成 23 年 3 月 14 日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

国内株式市場の動向と今後の見通し ならびに基準価額の変動に関するお知らせ

(国内株式市場の動向)

3 月 14 日の国内株式市場は、日経平均株価が前日比 633.94 円安(6.18%)の 9,620.49 円、TOPIX(東証株価指数)が前日比 68.55 ポイント安(7.49%)の 846.96 ポイントと大きく下落しました。

先週末 11 日の 14 時 46 分頃、東北・三陸沖を震源地とする巨大地震が発生したことで、市場参加者のリスク回避の動きが強まり、同日の国内株式市場は引けにかけて急落しました。

その後土日を経て、同地震のマグニチュードは 9.0 と国内観測史上最大規模であったこと、被災地が東北地方から関東地方の広範囲に亘っていること、大規模な津波が発生したことで、人的・物的な被害が拡大したこと、福島県にある原子力発電所に放射能漏れ懸念があること、東京電力が電力供給不足を回避するために輪番で「計画停電」を予定していることなど、地震の規模や被害の状況などが明らかになるにつれ、その影響の甚大さからリスク回避の動きが更に高まり、週明けの国内株式市場は東証一部全体の約 94%の銘柄が下げるほぼ全面安の展開となりました。現物市場の昼休みに東京電力の福島第一原発3号機で水素爆発が起こったことも、本日の下げ幅を拡大させた要因の1つであったと考えています。

(基準価額の変動状況)

国内株式市場の下落に伴い、以下のファンドが前日比で 5%超の下落となっております。

ファンド名	基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
朝日ライフ クオント 日本株オープン	4,435	397	8.22
朝日ライフ リサーチ 日本株オープン	5,557	428	7.15
朝日ライフ SRI 社会貢献ファンド	7,116	580	7.54
朝日ライフ 日経平均ファンド	6,217	415	6.26
朝日ライフ DC 日経平均ファンド	8,849	587	6.22

(今後の見通し)

今回の東北地方太平洋沖地震の被害状況に関してはまだまだ不明な点が多く、その全容が明らかになるまでは日本株市場は下値を模索する展開が続くのではないかと予想しています。特に福島原子力発電所の事故や、東京電力による輪番の計画停電は日本では初めての経験であり、その悪影響を織り込むにはある程度の時間が必要と考えてます。

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。

ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 1103103

また、今後の日本経済につきましても、生産活動が一時的に落ち込むことは避けがたく、踊り場からの脱却は1～2四半期後ずれしたのではないかと考えています。

ただし、米国や中国を中心とした海外経済の回復は続いており、日本経済が今回の地震を機に腰折れする可能性は低いこと、本日、日銀が追加の金融緩和策を発表しましたが、今後も政府による復興対応等数々の対策が期待されること、1995年に起きた阪神大震災時とは違い、大幅な円高が進行するリスクは低いこと、本日の下落を受けてTOPIXのPBR(株価純資産倍率)は1倍近辺まで低下し、バリュエーション面での割安感が高まってきたことなどから、中期的には株価は再び上昇基調に戻ると予想しています。

以上

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。

ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 1103103

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

申込時に直接ご負担いただく費用 申込手数料 上限 5.25% (税抜 5.0%)

換金時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額 上限 0.3%

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

..... 信託報酬 上限 1.9425% (税抜 1.85%)

その他の費用 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

(ご注意)

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 301 号

(社)投資信託協会会員/(社)日本証券投資顧問業協会会員

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。

ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 1103103